

新生ハイツ35年プランづくりの動向



<検討会の趣旨>

現在、第3回大規模修繕が実施されています。この工事は築70年を安心して住み続けることを前提としています。これからは「建物の老い」だけでなく「住み手の老い（少子化への対応も）」にも対処していかなければなりません。近年、マンションの限界団地化が社会問題となってきています。高齢者率が30%を超えたハイツも例外ではありません。築36年を経過したこの機をとらえ、NPOじおすでは、新狭山ハイツ自治会・新狭山ハイツ団地管理組合法人の協賛を得て、これからのハイツのあり様、特に「住み手の老い（若い世代の子育て含む）」を主体に話し合う場として検討会を立ち上げることにしました。

<参加をお願いしている団体及び個人>

団体：自治会、管理組合（中期修繕委員会含む）、寿会、子供会育成会、あおやぎ文庫、秩父荒川交流実行委員会、福祉の会風見どり、花水木会、民生・児童委員、交通安全協会、たまごルーム、青空サロン

NPO じおす所属団体（緑化推進本部、わくわく自然園を守り育てる会、生ごみリサイクルを進める会、リサイクルの会、楽農クラブ、手作り工房、情報工房、印刷工房、たすけあいの輪、その他理事）

アドバイザー：福祉（NPO理事：三島）、修繕総合コンサルタント（NPO会員：横超）、マンション管理士（NPO会員：岡本）

個人：他薦（いつでも参加自由、ぜひ関心のある方をお誘い下さい）

<検討会のおおむねの進め方>

検討会はおおむね毎月1回のペース（基本的には第2土曜日）で開催し、2年ぐらいかけてプランをまとめる予定です。

<これまで・これからの取り組み（今年度は情報共有に力点）>

- ・第1回：9月11日（土）、これまでのハイツにおける取り組みを紹介
- ・第2回：10月9日（土）、数字からみるハイツの現状と課題
- ・第3回：11月20日（土）、共有財産の保全への取り組み—長寿命化を視野に
- ・第4回：12月11日（土）、高齢者福祉及び子育て関係グループからの報告（予定）
- ・第5回：1月8日（土）、新春講演会「マンション再生—外の目からみたハイツの可能性と課題」（予定）
- ・第6回：2月12日（土）、来年度の進め方パートⅠ（予定）
- ・第7回：3月12日（土）、来年度の進め方パートⅡ（予定）

